

ほのお

2017. 3 No.160

春の 火災予防運動

3月1日(水)～3月7日(火)

火の始末
油断しないで
最後まで

平成28年度 東京消防庁防火標語

ふるもと そうた
作者 古本 創大 さん(新宿区在学)



火災予防運動期間中の主な行事

◆3月5日(日) 防火防災フェア ーいろいろな体験コーナーがあるよ!ー

場所：町田東急ツインズEAST 銅像前広場(原町田六丁目5番)

内容：ミニ防火衣・消防車できみも消防士!、消火器の使い方、AEDの使い方、キッズコーナーなど

◆3月12日(日) 林野火災対応訓練(予定)

場所：相原中央公園(相原町2018番地)

お知らせ

町田消防署本署(中町三丁目2番19号)は、
本年末に移転(本町田小学校北側)します。



発行 町田防火防災協会 町田危険物安全協会 町田防火管理者研究会

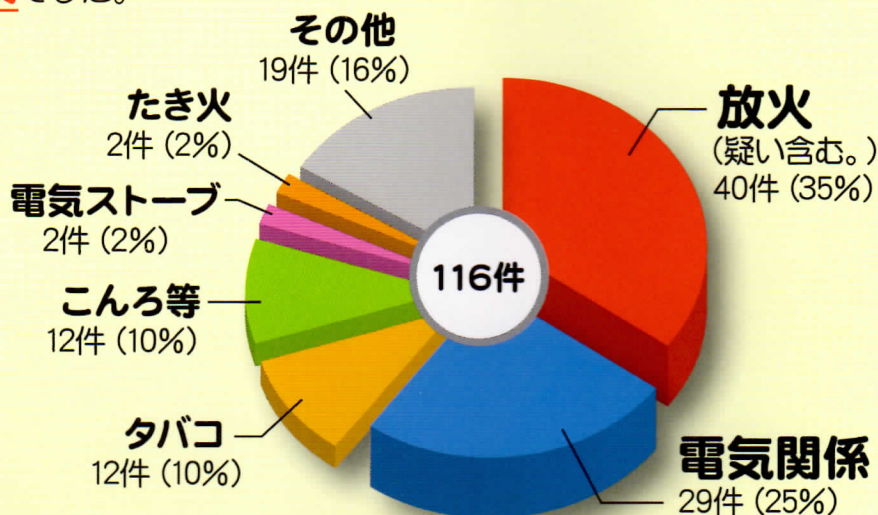
監修 町田消防署

「世界一 安全安心な都市・東京」

平成28年中の町田消防署の火災 (速報値)

町田消防署管内における平成28年1月1日から12月31日までに発生した火災は116件、その内の約7割、**78件が建物火災**でした。

	平成28年 町田消防署管内
火災件数	116件
焼損床面積	605㎡
死者	3名
傷者	16名



平成28年中の建物火災の原因をしてみると、放火（疑い含む。）、電気関係、タバコ、こんろという順になっています。また、**火災で亡くなる方のほとんどが住宅火災**であり、毎年ほぼ横ばいの件数で推移している状況です。

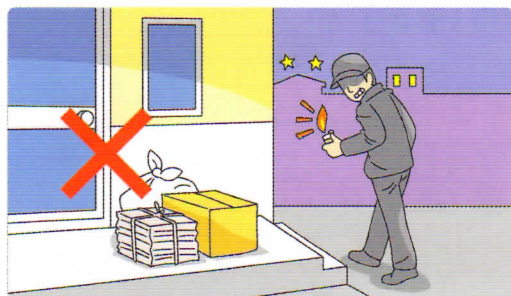


一住宅火災を防ぐポイント一



① 放 火

- ・家の周囲を整理整頓する。
- ・家の周りには燃えやすい物を置かない。
- ・車庫や物置などには鍵をかける。
- ・ごみは収集日の朝、決められた場所に出す。



② 電 気

- ・ほこりがたまらないよう定期的に掃除する。
- ・差し込みプラグを抜くときは、プラグ本体を持つ。
- ・コードの折れ曲がり、家具等の下敷きや扉への挟み込みに注意する。
- ・電気コードを束ねて使用しないようにする。
- ・テーブルタップは、決められた容量内で使用する。
- ・外出時や就寝時などは、使わないプラグはコンセントから抜いておく。

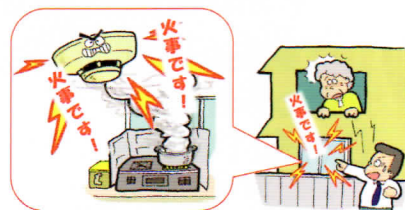


住宅用火災警報器を設置しよう！

住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して音声や警報音で知らせてくれるので、火災の早期発見に有効です。

住宅用火災警報器（電池を含む。）には寿命があります。

センサー部分が故障するなど、機器本体にも寿命があります。メーカーでは、機器本体は最大10年を目安に交換をおすすめしています。



**つけてよかった！
住宅用火災警報器**

揚げ物をするために油を加熱し、他の部屋へ移動した。約20分ほど台所から離れていたところ、住宅用火災警報器が鳴ったので、台所へ戻ると、フライパンの油から炎が上がっていた。



ご家庭に消火器を備えよう

消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。

いざという時のために、ご家庭に消火器を用意しましょう！



《消火器の3動作》 ① ピンを抜く ② ホースを向ける ③ レバーを握る

消火器には**使用期限が定められています**（業務用はおおむね10年、住宅用はおおむね5年）。古くなった消火器は、「廃消火器リサイクルシステム」を利用して、廃棄してください。（処分には、消火器リサイクルシール代及び運送料・保管費用が必要です。）※詳しくは（一社）日本消火器工業会「消火器リサイクル窓口」にお問い合わせください。

③ タバコ

- ・寝たばこをしない。
- ・飲酒→喫煙→うたた寝に注意する。
- ・吸殻をためない。
- ・吸殻は水で完全に消火して捨てる。
- ・シーツや掛け布団カバーは防災品を使用する。
- ・火種を落とさないよう決まった場所で喫煙する。



④ こんろ

- ・こんろから離れる際は必ず火を消す。
- ・こんろの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・換気扇や壁、魚グリルなどは定期的に掃除する。
- ・こんろの火が袖口などに触れないように注意する。
- ・Siセンサーこんろを使用する。

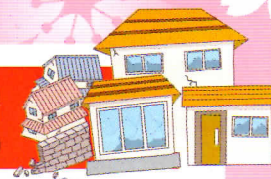


⑤ ストーブ

- ・ストーブの周りには物を置かない。
- ・ストーブをつけたまま外出しない、寝ない。
- ・ストーブの上で洗濯物を干さない。
- ・部屋を離れる時は、必ずストーブを消す。
- ・石油ストーブに給油する時は、必ず火を消す。
- ・電気ストーブも石油ストーブ等と同様に注意する。



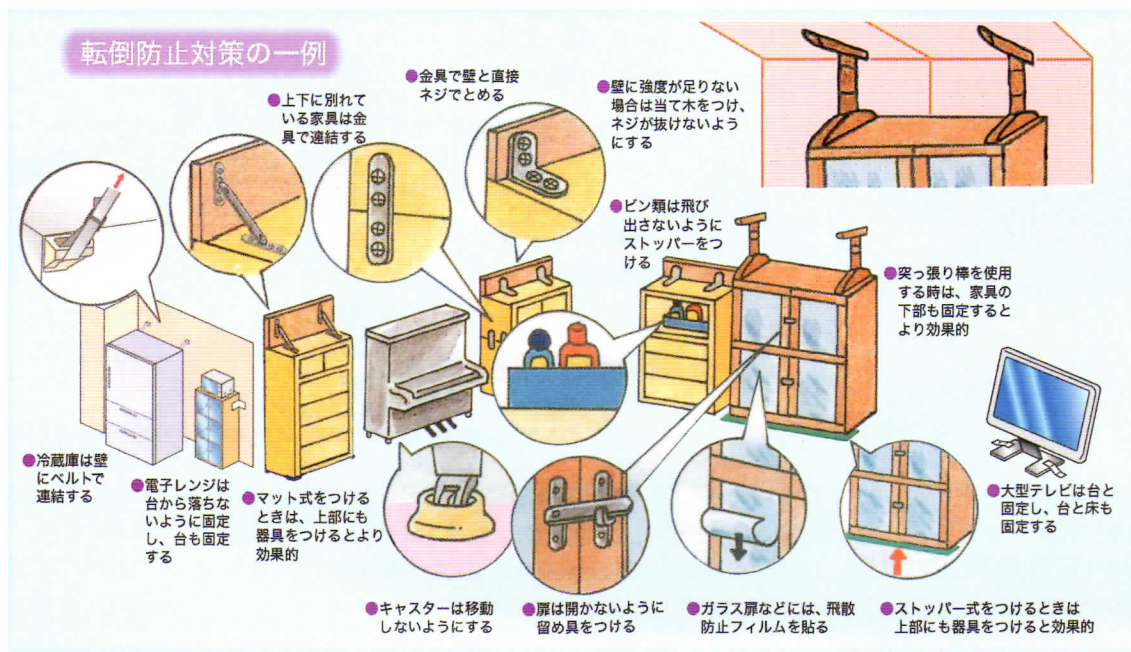
「家具転対策」で地震に備えよう!



「家具転対策」とは、家具類の転倒・落下・移動防止対策の略称です。近年発生した地震の負傷原因の3～5割は家具転によるものでした。地震により家具類の転倒などが発生すると、普段生活する住居内で様々な被害（ケガ、火災、避難障害等）が発生します。身近な被害を防ぐためにも、家具転対策を実施しましょう。

家具の固定方法の例

家具転対策は様々な方法があるので、家具にあった器具を正しく設置することが重要です。



東京消防庁 救急相談センター
 [24時間受付・年中無休] 携帯電話 PHS プッシュ回線
#7119
 つながらない場合は...
 ☎ 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

東京版 救急受診ガイド
 病気やけがの緊急度や受診する科目が東京消防庁ホームページで確認できる!
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>
 携帯電話はこちら
 スマートフォンはこちら

募集 町田消防少年団
 いっしょに
防火防災を学ぼう
 問合せ先 警防課防災安全係
 TEL.042-722-0119

募集 町田市消防団
「自分たちのまちを、自分たちで守る」
 問合せ先 町田市役所
 市民部防災安全課
 TEL.042-724-2107

町田消防署 (中町三丁目2番19号)
 町田消防署本署は、本年末に移転(本町田小学校北側)予定です。
TEL: 042-722-0119
FAX: 042-728-5794
 メールアドレス:
matida@tfd.metro.tokyo.jp ※119番通報には使用できません。
 ホームページ:
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-matida/html>

■ 忠生出張所	TEL: 042-792-0119
■ 南出張所	TEL: 042-795-0119
■ 鶴川出張所	TEL: 042-735-0119
■ 西町田出張所	TEL: 042-770-0119
■ 成瀬出張所	TEL: 042-720-0119